

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書こう。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の内よきを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●次の手順で、自分の考えをはっきりさせよう。

①「初め」 最も強く感じたことを一文で表そう。

- ・友達って、本当に大切だ。
- ・ノビーの短気なところは、自分と似ている。
- ・アメリカの子どもとにているところやちがうところがあってもいい。
- ・自分もお母さんから、ノビーのママみたいな言葉を言われたことがある。

②「中」 特に物語のどの部分にかかわりがあるか、その部分に線を引こう。

③「中」 具体的にどのように感じたか、なぜそう考えたのか、くわしく書こう。

【7 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑦
本時のねらい

自分の感想に理由や事例を挙げ、構成を考えて書くことができるようにする。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 感想文を書くために、「コツ二」「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。（ことを押さえる。）
- ※ 提示物「コツ二」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。
- ※ 前時に学習した〈資料〉「やさしい心」の書き方の工夫にも触れます。
- ワークシート⑦を配り、記名させる。
- 本時は、組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて感想文の「初め」「中」を書くことを知らせる。

2 感想文の「初め」「中」を書く。

- 教科書五十五ページの手引きを読ませ、手順に沿って「初め」「中」を書かせる。
- ① 最も強く感じたことを一文で書かせる。「初め」
 - * 前時までの学習で使ったワークシートを利用して、その中から書きたいことを想起させます。
 - * 書き出せない児童には、教科書五十五ページ上段〈例〉を参考にさせます。
- ② ①が、物語のどの部分に関わりがあるか、本文に線を引かせる。「中」
 - * ②では、必ず叙述を根拠にさせるようにします。
- ③ ②を引用したり短くまとめたりしながら、具体的にどのように感じたのか、なぜそう考えたのかを、ワークシート⑦に詳しく書かせる。「中」

評価 構成を考えて感想文を書いている。（書イ）

理由や事例を挙げて、感想文を書いている。（書ウ）

3 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート⑦で自己評価をさせる。
- 次時は、感想文の「終わり」を書き、推敲し仕上げることを伝え、ワークシート①で確かめさせる。